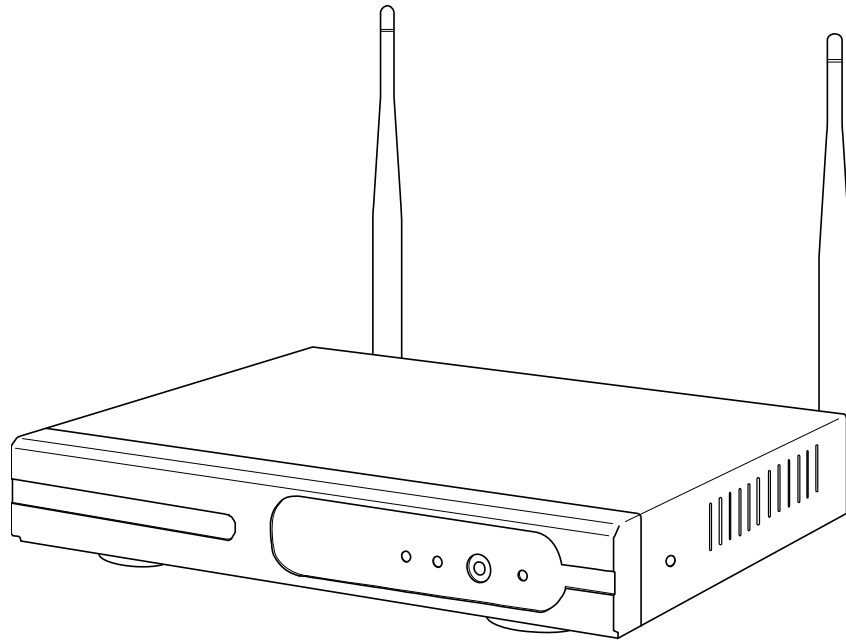


Wi-Fiネットワークビデオレコーダー

NVR-K8210**取扱説明書** (保証書付)

この度は「Wi-Fiネットワークビデオレコーダー NVR-K8210」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。電源を入れる前に、この説明書をよくお読みになってからご使用ください。
この取扱説明書は大切に保管していただき、必要な時にお読みください。



もくじ

はじめに	
本機の特徴	3
本システムについて	3
安全上のご注意	
安全上のご注意	4
免責事項	5
本機の操作について	6
1 パッケージ内容	6
2 パネルの説明	7
3 セットアップウィザード（初期設定）	8
4 ライブ画面	10
5 メニューとログイン	11
6 電源を切る	12
7 ビデオ管理 ～カメラを追加する～	13
リピータ機能について	15
8 ビデオ再生	16
-1 ビデオ再生画面（録画映像の再生方法）	16
-2 AI再生	17
9 バックアップ	18
10 システム設定	19
-1 一般設定（時間設定、ディスプレイ解像度の設定など）	19
-2 録画設定（録画予約の設定）	21
-3 ネットワーク設定	22
-4 チャンネル設定（カメラの設定、モーション設定など）	24
-5 システム管理者（パスワードの設定など）	26
11 カメラ追加	29
12 クラウドサービス	30
13 仕 様	31
14 こまったときは	32
15 修理について	33

商標について

本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。
なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。

はじめに

本機の特徴

- ・カメラと受信機間を無線で通信するためケーブル工事が不要。LAN ケーブルによる接続も可能。
- ・カメラ 10 台まで接続可能、全てのカメラを録画することができます(同時再生は任意の 2 台まで)。
- ・リピータ機能により電波が届きづらい場所や長距離での通信を可能にします。
- ・AI 人体検索による再生が可能。
- ・有線/Wi-Fi ネットワーク経由でインターネットに接続し、スマートフォンなどから遠隔監視が可能。

本システムについて

■使用上のご注意

電波を利用して映像/音声のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続できる利点があります。その反面、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、パスワードを設定するなど対策をされることを推奨します。

無線 LAN (Wi-Fi) 機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■製品のご使用について

本製品および周辺機器は日本国内仕様であり、海外での動作保証はおこなっておりません。

誤操作や故障などにより、本製品の記憶内容が失われたり、使用できなくなる場合がございますが、保証書に定められた保証サービスを除き、これによる損害などの責任を当社では一切負いかねますのでご了承ください。重要なデータなどはこまめにバックアップを取っておくことをおすすめします。

本製品の修理につきましては、持ち込み修理のみとなります。

本製品の修理時には設定内容や録画ファイルについては保証されません。

本製品には、有寿命部品（ハードディスク、ACアダプタなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、ご使用状態によっては早期に部品交換が必要となる場合があります。

本製品の保証期間は 1 年間です。

■無線電波に関するご注意

本製品は 2.4GHz 帯の電波を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 電子レンジ、デジタルコードレス電話、その他 2.4GHz 帯の電波を使用する機器（無線 LAN、Bluetooth 対応機器、ゲーム機器など）の近くで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなる場合があります。

本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けておりますので、無線局の免許は不要です。ただし、本製品を分解・改造することは電波法で禁止されています。また、本製品に貼付の認証ラベルをはがしたり、改ざんする、などはおこなわないでください。

■お手入れについて

清掃をするときは本機の電源をお切りください。

機器は柔らかい布で拭いてください。

シンナー・ベンジン・ワックスなどは使用しないでください。

電波の到達距離について

■見通しで 200m 木造の建物で 20~40m

カメラとレコーダー間に障害物や遮蔽物がない環境下で、電波到達距離は見通し 100~200m です。





屋外にカメラ、屋内に本機を設置した場合、木造住宅での電波到達距離はおおよそ 20~40m です。









- ・設置環境、周辺の無線機器などによって、電波到達距離が極端に短くなる場合があります。
- ・電波が届かない（映像が途切れる）場合、アンテナ角度を調整していただくか、各機器の設置位置を移動していただくことで改善する場合があります。
- ・リピータ機能を使用し、電波が届きづらいカメラを、通信が良好なカメラで中継することができます。☎15分
- ・無線での接続ができない場合、LAN ケーブル接続をご検討ください。







安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- ・ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。
- ・ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 警告	
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。	
 注意	
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。	
 必ずおこなうこと	 してはいけないこと

 警告	
	<p>異常・故障時には直ちに使用を中止する 異常があったときには、電力の供給を停止する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 煙が出たり、異常なおいや音がある ・ 内部に水や異物が入った ・ 電源プラグが異常に熱い ・ 本体や AC アダプターが破損した <p>そのまま使うと火災・感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AC アダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。 ・ 電源プラグがすぐ抜けるよう、AC アダプターは容易に手が届く位置にある電源コンセントに接続してください。 ・ 電源を切り、販売店にご相談ください。
	<p>電源コードは、誤った使いかたをしない 感電や、ショートによる火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工しない・傷つけない ・ 熱器具に近づけない ・ 無理に曲げない・ねじらない・引っ張らない ・ 束ねたりしない ・ 傷んだら使わない <p>差し込みがゆるいコンセントには使わない たこ足配線や定格外（交流 100 V～240 V 以外）で使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぬれた手で抜き差ししない
	<p>電源プラグは、正しく扱う 感電や、ショートによる火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります） ・ 根元まで確実に差し込む ・ 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない
	<p>分解、改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。</p>
	<p>内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。 特にお子様にはご注意ください。</p>
	<p>可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない 火災や爆発の原因になります。 粉じんの発生する場所でも使わない</p>
	<p>雷が鳴ったら、触れない 感電の原因になります。 本体や AC アダプターには、金属部があります。</p>

 注意	
	不安定な場所や振動の多い場所には設置しない 落下などによりけがや機器の破損の原因となります。
	次のような場所に放置しない 火災、感電や故障の原因になることがあります。 異常に温度が高くなる場所（直射日光が当たる場所、真夏の車内など） 油煙や湯気の当たるところ 湿気やほこりの多いところ
	次のときは、電源プラグを抜く 通電状態のまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。 ・長期間使わないとき ・お手入れのとき
	次のときは、電源プラグを抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ・内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき ・落下などで外装ケースが破損したとき ・煙や異臭、異音などが出たとき
	本機、ACアダプターの放熱を妨げない 内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。 ・本棚やラックの中など狭い空間に設置しない ・新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない ・本機の吸気口、排気口をふさがない

免責事項

■本製品は、盗難防止器具・災害防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害については、当社は一切責任を負いません。

■製品の設置（取り付け・取り外しなど）により生じた建物などへの損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。

■地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。

記録内容に関する免責事項

■本機の不具合または外部メディアの不具合・修理など、何らかの原因で本機または接続した外部メディアのデータが破損・消滅した場合の記録内容の保証、それに付随するあらゆる損害について、弊社はいかなる場合においても一切の責任を負いません。

またいかなる場合においても弊社では保存データの修復・復元・複製は致しかねますのであらかじめご了承ください。

プライバシー・肖像権について

■防犯機器の設置や利用は、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、

おこなってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容貌、姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

ネットワーク接続について

■本機は無線LAN(Wi-Fi)およびLANポートを搭載しておりますが、LAN及び、公衆インターネット回線への接続はサポート致しかねます。また、このことに関するお問い合わせには、お答えいたしかねますのであらかじめご了承ください。

パスワード変更のお願い

（第三者アクセス防止のため）

■本機はインターネット経由でアクセスできるように設定できます。第三者からの意図しないアクセスによるプライバシーや肖像権の侵害、情報漏えいなどを未然に防止するために、必ずパスワードを変更してください。初期設定 admin のパスワード変更後、お忘れになりますとログインができなくなりますので、メモなどに残し第三者に見られないよう保管しておくことをおすすめします。万一お忘れになった場合は、お客様ご自身での解除はできません。本機をお預かりさせて頂いての有料対応となり、お時間も頂くこととなりますのでご注意ください。

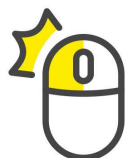
※第三者によるパスワード解除が容易にされないよう、都度解除入力項目が変わりますのでご了承ください。

本機の実作について

マウス実作

本機は、実作ボタンを備えておらず、マウスを使ってすべての実作をおこないます。
この取扱説明書では、特に断りがない限り、以下の実作を用います。

クリック



マウスの左ボタンをカチッと押す

おもな役割

選択する・実作する

右クリック



マウスの右ボタンをカチッと押す

おもな役割

メニューを表示させる

キャンセルする・前の画面に戻る

文字の実作

パスワードやメールアドレスなど、文字を入力する「枠」をクリックするとソフトキーボードが表示されます。



マウスで一文字ずつクリックしてください。間違えた場合は **<** で1文字削除します。アルファベットの
大文字や「@」などを入力する場合は **shift** をクリックしてください。

文字を入力し終えたら **Enter** をクリックしてください。

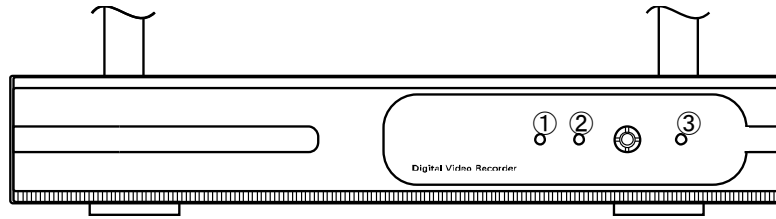
1 パッケージ内容

本機をご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることをご確認ください。
不備な点がございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

	内容	数量
1	本体	1
2	ACアダプター(12V2000mA、約1m)	1
3	LANケーブル 約1m	1
4	USBマウス	1
5	取扱説明書(保証書付)	1

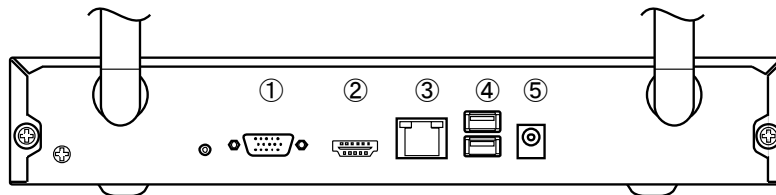
2 パネルの説明

前面パネル



- | | |
|-----------|----------------------------|
| ①電源ランプ | 本機に付属のACアダプターが接続されると点灯します。 |
| ②HDDランプ | 本機が内蔵HDDを認識すると点滅します。 |
| ③ランニングランプ | 本機が動作中に点滅します。 |

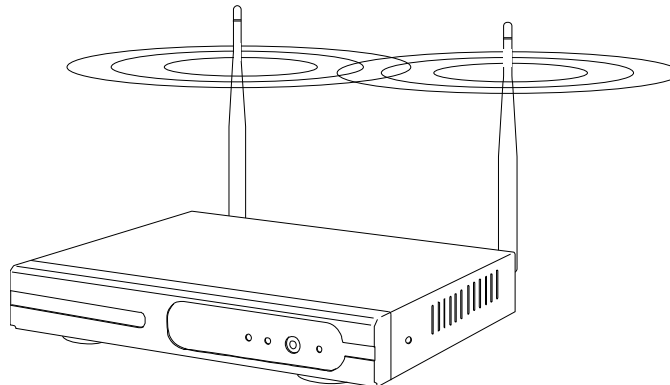
背面パネル



- | | |
|--------|--|
| ①VGA | 市販のテレビやパソコン用モニターを接続します。
本機のディスプレイ解像度は、さまざまなテレビモニターに対応するよう、1024×768に設定し出荷しております。 |
| ②HDMI | 1024×768解像度が表示できるモニターをご用意ください。
フルハイビジョン（1080P）以上のテレビモニターをご使用の場合、本機の映像出力解像度を変更することにより、より鮮明な映像を表示させることが可能になります。 <small>▶ 19</small> |
| ③WAN | 注意：工場出荷時設定を行った場合は再設定が必要になります。
LANケーブルを使用し、ルーターなどに接続します。
スマートフォン/PCなどから本機を遠隔監視する場合、ネットワーク回線が必要です。LANケーブルで本機をルーターに接続します。 <small>▶ 22</small>
『無線ネットワーク』設定でWi-Fi(無線LAN)接続も可能です。 <small>▶ 23</small> |
| ④USB | 付属のUSBマウスや、バックアップ時にUSBメモリを接続します。 |
| ⑤DC12V | 付属のACアダプターを接続します。 |

アンテナについて

アンテナは垂直にした場合は水平方向、水平にした場合は垂直方向に強く電波を發します。カメラの設置場所にあわせて調整が可能です。カメラのアンテナも同様の角度に調整してください。



3 セットアップウィザード(初期設定)

初めて本機を起動した際は、セットアップウィザード画面が表示されます。ウィザードに従って、初期設定をおこないます。

一般セットアップ



[次] をクリックして次の画面に移動します。

言語

日本語を選択します。

タイムゾーン

世界標準時間と日本時間の時差の設定です。「+09:00東京、ソウル」を選択してください。

日付時刻

現在の日付と時刻を設定し[適用]をクリックしてください。

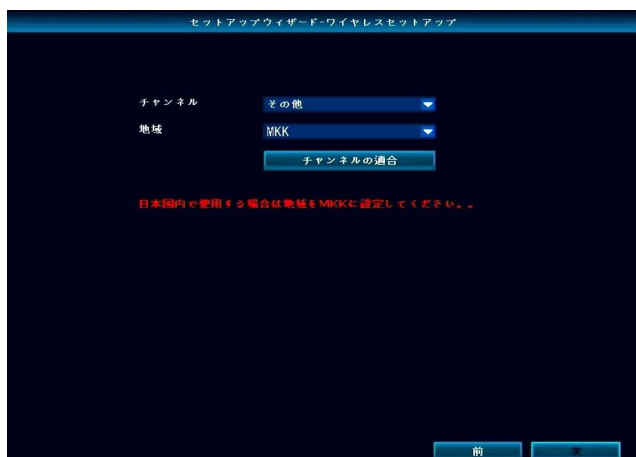
同期時刻

インターネットに接続する場合は[✓]を入れてください。自動的に時刻を調整します。

ブートウィザード

次回電源投入時に再度ブートウィザードを表示させる場合は、[✓]を入れて[終了]をクリックします。

ワイヤレスセットアップ



本機の無線LANの設定です。

通常はそのまま [次] をクリックします。

「現地の法律に準拠しているチャンネルがどうか確認してください」と表示されますので [はい] をクリックします。

チャンネル

通常は変更しないでください。

2.4GHzでは13のチャンネルが使用できます。必要に応じチャンネルを変更できます。

地域

電波領域の設定です。日本で認可されているのはMKKです。

※地域は「MKK」以外に設定しないでください。

ワイヤレスネットワーク



本機はWi-Fi（無線LAN）に対応しており、ご使用のWi-Fi環境などを通じて、インターネットに接続することができます。これにより、スマートフォン等で遠隔監視が可能になります。

無線LAN 有効に[✓]

『WiFiの名前』から接続するアクセスポイントを選択します。

パスワード

アクセスポイントのパスワードを入力します。

[次] をクリックします。

クイックネットワーキング



ネットワーク設定

本機のネットワークに関する設定をおこないます。必要に応じ[手動設定]から設定してください。

IPアドレス

本機のIPアドレスを表示します。

ID

遠隔監視用の専用アプリで使用するID番号です。アプリから登録できるQRコードも表示します。

ネット診断

インターネットに正しく接続されているか診断します。

ネットワーク状態

本機のネットワーク接続状況を表示します。

[次] をクリックします。

ストレージ管理



本機に内蔵されたHDDの情報を表示します。

この画面から、HDDの初期化（フォーマット）をすることも可能です。

ディスクの初期化をする場合には、初期化項目に[✓]を入れ、[初期化] をクリックします。

「すべてのデータが削除されます。続行してもよろしいですか？」と表示されますので [[はい] をクリックします。※記録された内容は全て消去されます。

[次] をクリックします。

クラウドサービス



クラウドサービスを使い、スマートフォンでカメラの映像を見ることができます。

ここでは、アプリをダウンロードするためのQRコード、アプリから本機のID番号を登録するためのQRコードを表示します。

[完了] をクリックし設定を終了します。

再度スタートアップウィザードを表示させるには、ライブ画面でマウスを右クリックし、『ウィザード』を選択してください。



4 ライブ画面



カメラ日時	カメラ内蔵時計の時間です。通常は、本機と同期します。
カメラタイトル	カメラごとの名称を変更します。 通常はチャンネル番号が反映されますが、変更することも可能です。【P.24】
チャンネル	カメラのチャンネル番号です。
警報アイコン	本機からのお知らせを表示します。本機に発生したエラーが発生したり、モーション(動体)検知した際に表示されます。【P.20】 このアイコンをクリックすると、警報の内容が表示されます。
本機の日時	現在の日時を表示します。【P.20】
カメラ操作	マウスで任意のカメラを左クリックし選択すると表示されます。 カメラ音声の入/切、カメラ映像ズーム、カメラ映像の色彩調整などを調整します。 『IRカットモード』について 赤外線モード=明るいときはカラー、暗くなると白黒映像+赤外線投光 デーライト =明るいときはカラー、暗くてもカラー+赤外線投光(周囲が暗すぎる場合は、ノイズが多くなったり、見づらくなります) 夜 =常に白黒映像 (フルカラーモード・スマートモードは使用しません)
クラウドID	クラウドサービスを使用し遠隔監視をおこなう際のIDを表示しています。 ネットワーク接続 ネットワーク非接続 (表示させないこともできます。【P.19】)
録画状態	時間録画中 モーション録画中 モーション録画を有効にするには、録画予約 (P.21) とビデオ検出 (P.25) を設定してください。
接続品質	カメラの接続品質を表示します。 無線接続の場合: 有線接続の場合: 表示させないこともできます。【P.24】
人体検知	本機が人体を検知した際に表示します。各カメラごとに表示されます。 あらかじめ、『チャンネル設定』>『ビデオ検出』で検知したいチャンネルを『有効』にし『人体』に“✓”してください。【P.25】

5 メニューとログイン

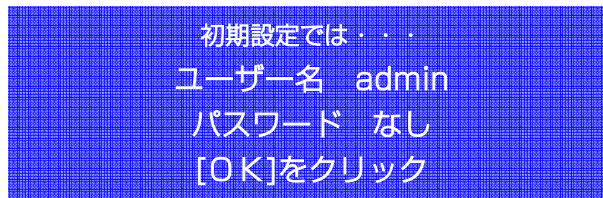
5-1 メニュー

本機を操作したり、設定を変更する場合に使用します。ライブ画面でマウスを右クリックして表示させます。

	分割画面 ▶	→ ライブ画面の分割表示方法を変更する (分割表示や1画面表示) …	1 1
	ビデオ管理	→ カメラと接続する……………	1 3
	システム設定	→ 本機の設定をする……………	1 9
	ビデオ再生	→ 録画映像を再生する……………	1 6
	バックアップ	→ 録画映像をUSBメモリにバックアップする……………	1 8
	ウィザード	→ セットアップウィザードを表示する……………	8
	ネットワーク設定	→ 簡易なネットワークの設定……………	9
	リピータ	→ リピータ (中継) 機能を設定……………	1 5
	カメラ追加	→ カメラを新たに追加する……………	2 9
	システム終了	→ ログアウト、本機の再起動・電源を切る……………	1 2

5-2 ログイン

本機を操作するために、ログインが必要です。
初期設定ではユーザー名は「admin」(管理者という意味です)で、パスワードは設定されていません。
ログイン画面が表示されたら、[OK]をクリックしてください。



ユーザーの追加、パスワードの設定は [27](#)

分割表示

本機は、カメラを最大10台まで接続できます。接続台数により分割表示が選べます。
カメラの表示位置を入れ替えるには、ビデオ管理画面でチャンネルの移動をしてください。 [13](#)~[14](#)

分割画面 ▶ ビデオ管理 システム設定 ビデオ再生 バックアップ ウィザード ネットワーク設定 リピータ カメラ追加 システム終了	<input type="radio"/> X1表示 <input type="radio"/> X4表示 <input type="radio"/> X6表示 <input type="radio"/> X8表示 <input type="radio"/> X9表示 <input type="radio"/> X10表示	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 7 <input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9 <input type="radio"/> 10																					
	<p>×1表示</p> <table border="1"> <tr><td>CAM1</td></tr> </table>			CAM1	<p>×6表示</p> <table border="1"> <tr><td>CAM1</td><td>CAM2</td></tr> <tr><td>CAM3</td><td>CAM4</td></tr> <tr><td>CAM5</td><td>CAM6</td></tr> </table>	CAM1	CAM2	CAM3	CAM4	CAM5	CAM6	<p>×9表示</p> <table border="1"> <tr><td>CAM1</td><td>CAM2</td><td>CAM3</td></tr> <tr><td>CAM4</td><td>CAM5</td><td>CAM6</td></tr> <tr><td>CAM7</td><td>CAM8</td><td>CAM9</td></tr> </table>	CAM1	CAM2	CAM3	CAM4	CAM5	CAM6	CAM7	CAM8	CAM9			
	CAM1																							
	CAM1	CAM2																						
	CAM3	CAM4																						
	CAM5	CAM6																						
CAM1	CAM2	CAM3																						
CAM4	CAM5	CAM6																						
CAM7	CAM8	CAM9																						
<p>×4表示</p> <table border="1"> <tr><td>CAM1</td><td>CAM2</td></tr> <tr><td>CAM3</td><td>CAM4</td></tr> </table>	CAM1	CAM2	CAM3	CAM4	<p>×8表示</p> <table border="1"> <tr><td>CAM1</td><td>CAM2</td></tr> <tr><td>CAM3</td><td>CAM4</td></tr> <tr><td>CAM5</td><td>CAM6</td></tr> <tr><td>CAM7</td><td>CAM8</td></tr> </table>	CAM1	CAM2	CAM3	CAM4	CAM5	CAM6	CAM7	CAM8	<p>×10表示</p> <table border="1"> <tr><td>CAM1</td><td>CAM2</td></tr> <tr><td>CAM3</td><td>CAM4</td></tr> <tr><td>CAM5</td><td>CAM6</td></tr> <tr><td>CAM7</td><td>CAM8</td></tr> <tr><td>CAM9</td><td>CAM10</td></tr> </table>	CAM1	CAM2	CAM3	CAM4	CAM5	CAM6	CAM7	CAM8	CAM9	CAM10
CAM1	CAM2																							
CAM3	CAM4																							
CAM1	CAM2																							
CAM3	CAM4																							
CAM5	CAM6																							
CAM7	CAM8																							
CAM1	CAM2																							
CAM3	CAM4																							
CAM5	CAM6																							
CAM7	CAM8																							
CAM9	CAM10																							

6 電源を切る

本機の電源を切る場合は、必ず下記の方法でシャットダウンさせてください。

本機が動作中に電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きACタップのスイッチをOFFにするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、録画データが消失する恐れがあります。

- 1・ライブ画面を右クリックし、『システム終了』を選択します。



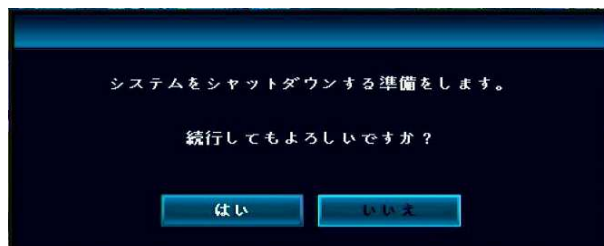
- 2・ログイン画面が表示されたら[OK]をクリックします。
(パスワードを設定している場合は、入力してから[OK]をクリックします、)



- 3・[シャットダウン]をクリックしてください。



- 4・『システムをシャットダウンする準備をします』と表示されたら[はい]をクリックします。



(参考)

[ログアウト] ログイン中のユーザーがログアウトします。

[再起動] 本機を再起動します。動作が不安定になった際に実施してください。

- 5・「電源をオフにしてください」と表示されたら、コンセントからACアダプターを抜いてください。



7 ビデオ管理 ～カメラと接続する～

<メモ>

カメラと本機をセットでお買い上げの場合は、すでに接続済みで出荷している場合があります。
この場合、本機とカメラの電源を投入すれば、ライブ画面にカメラ映像が表示されますので、必要に応じてチャンネル(カメラ表示位置)を変更してください。本項4(14頁)をご参照ください。

新たにカメラを本機に接続する方法

- 1 マウスを右クリックし、メニューを表示させ、『ビデオ管理』を選択します。



- 2 ログイン画面が表示されたら[OK]をクリックします。
(パスワードを設定している場合は、入力してから[OK]をクリックします。)



- 3 ビデオ管理画面

The screenshot shows the 'ビデオ管理' (Video Management) screen. At the top, there is a 'プロトコル' (Protocol) dropdown menu set to 'N1'. Below it is a table with columns: ID, デバイス名 (Device Name), IP アドレス (IP Address), ポート (Port), and プロトコル (Protocol). The table is currently empty. To the right of the table are buttons: 'サーチ' (Search), 'マッチコード' (Match Code), '1台追加' (Add 1), 'IPの変更' (Change IP), and 'アドバンスト' (Advanced). Below the table is a status indicator '< 0 / 0 >'. A dashed horizontal line separates this section from the one below. Below the dashed line is another table with columns: チャンネル (Channel), デバイス名 (Device Name), IP アドレス (IP Address), and ステータス (Status). The table has 8 rows, all with 'ビデオがありません' (No video). To the right of this table are buttons: '削除' (Delete), 'すべて削除' (Delete All), 'チャンネル編集' (Edit Channel), 'チャンネル設定' (Channel Settings), 'Wireless設定' (Wireless Settings), and 'リビータ' (Reboot). Below this table is a status indicator '< 1 / 2 >'. At the bottom of the screen are two buttons: '[OK]' and '取り消し' (Cancel). On the right side of the screen, there are two vertical arrows: an upward arrow pointing to the top section and a downward arrow pointing to the bottom section.

本機に未接続のカメラ

↑

↓

本機に接続済みのカメラ

本機の近くでカメラに電源を接続してください。カメラからチャイム音がし、カメラのインジケータが点滅したら[サーチ]をクリックしてください。



本機がカメラの電波をキャッチすると、上記のように表示されます(画面の例=カメラ4台)。
※『プロトコル』は『N1』のままでおこなってください。

- [マッチコード] 一覧にあるカメラを全て追加します。
- [1台追加] クリックして選択したカメラを1台ずつ追加します。
有線接続の場合もこちらで追加してください。

リストにカメラが表示されない場合（「デバイスが見つかりません。」と表示された場合）は、カメラをリセットし、しばらく待ってから再度[サーチ]をクリックしてください。

[マッチコード]で追加中



本機がカメラの電波をキャッチし、すべてのカメラを自動で追加していきます。



4 カメラが追加されました。

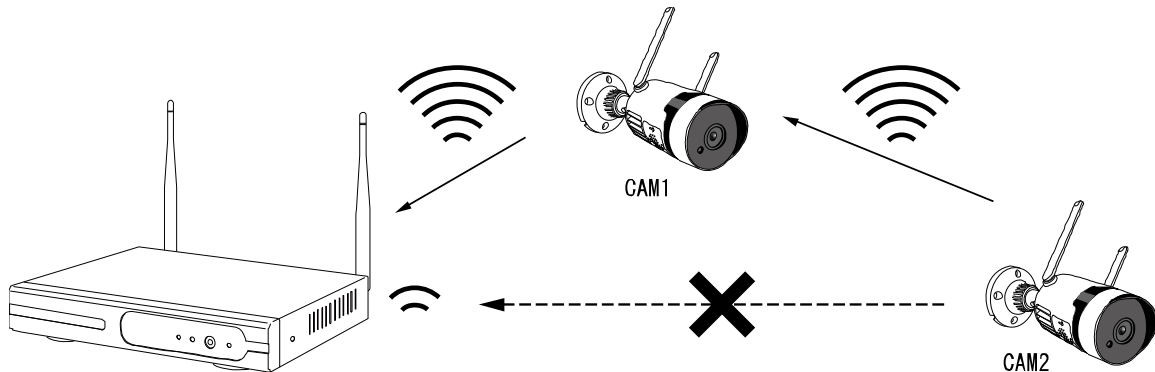
カメラをクリックして選択し、「チャンネル」左の△、▽をクリックしチャンネルを移動させると、カメラのチャンネル(ライブ画面の表示位置)を変更することができます。

7 最後に[OK]をクリックしてください。

リピータ機能について

本機はリピータ機能を利用できます。

他のカメラを中継することにより、電波が届きづらい場所や長距離での通信を可能にします。



(例)電波が弱く通信が不安定なCH2のカメラ(CAM2)を、CH1のカメラ(CAM1)に中継させる場合



ビデオ管理画面から[リピータ]をクリックします。

右側の表に、現在接続しているカメラと信号の強さが表示されます。



信号が強いほうのカメラ(ここではCH1)の[+]をクリックし、中継させたいカメラ「2」を選択します。

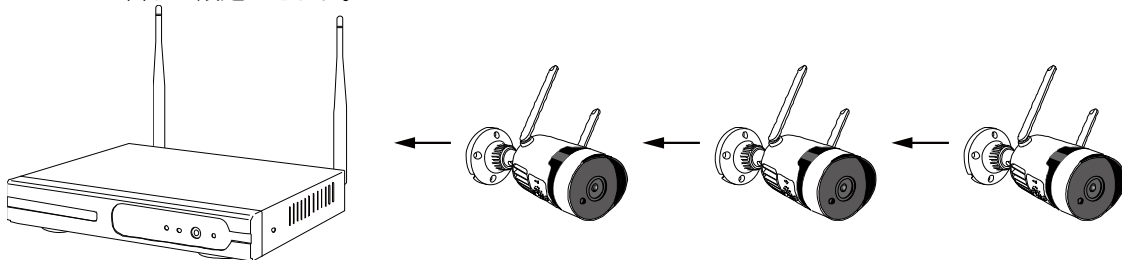


CH2はCH1を中継して本機と接続されました。

<メモ>

はじめに本機の近くでカメラの追加とリピータの設定をしてから設置してください。

中継カメラは2台まで設定できます。



注意：有線LAN接続のカメラではリピータ機能は使えません。

8 ビデオ再生

◆内蔵HDDに録画されたカメラ映像(録画ファイル)を再生します。



ライブ画面でマウスを右クリックし、ビデオ再生を選択します。

8-1 ビデオ再生画面



▲再生画面が開くと、チャンネル1、2の今日のいちばん古い映像から再生が開始されます。タイムバーで再生時間を指定できます。横軸は0時～24時の時間です。タイムバー上にマウスを動かすと、時間選択のところに時間が表示されます。そこでマウスをクリックすると、その時間から再生します。タイムバー切替で横軸を1時間表示にできます。



1・日付を選択

再生したい日付をカレンダーからクリックして選択します。

緑色の日付が録画ファイルのある日です。(日付をダブルクリックすると、その日を再生します)

2・チャンネル番号に[✓]

再生したいチャンネル番号を選択します。(最大2つのチャンネルまで)

3・録画モードを選択

再生したい録画モードを選択できます。

『時間』の[✓]を空白にすると『モーション』のみがタイムバーに表示されます。(センサーは使用しません)

4・録画ファイルを検索する時間帯を入力し、[検索]をクリック

⇒指定した日時およびカメラの再生が開始されます。

再生中は、再生 [▶] 一時停止 [||] 早送り [▶▶] などの操作を行うことができます。

5・「CH：開始時間：サイズ」の欄は、録画ファイルのカメラチャンネル：録画を開始した時間：録画ファイルの容量です。この欄からファイルをクリックして選択し[ファイル再生]をクリックするとそのファイルが再生されます。

6・本機にUSBメモリを挿入した状態で[バックアップ]をクリックすると、そのファイルがUSBメモリにバックアップされます。

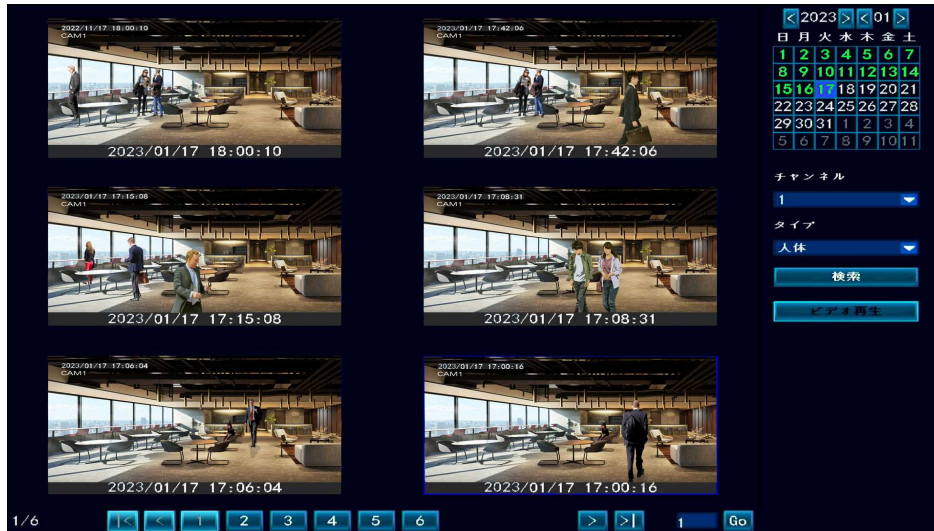
7・再生を終える場合には右下の[終了]をクリックします。

8-2 AI再生

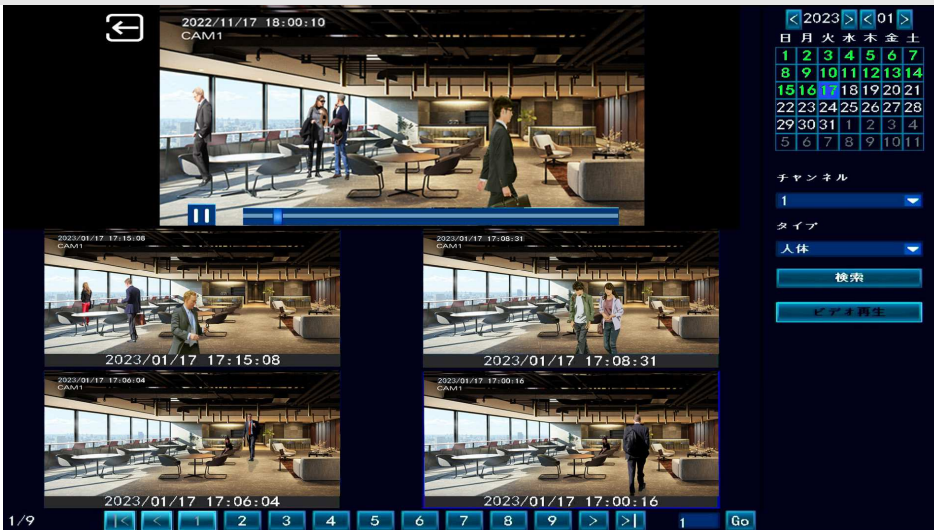
◆AIによる検索で人体を検知した箇所を再生することができます。

あらかじめ、10-4-4 ビデオ検出 (☎25分) を『有効』に[✓]し、『人体』に[✓]を入れた状態で録画をしてください。

- 1 ライブ画面で右クリック→ [ビデオ再生] を選択し、 [AI再生] をクリックします。
- 2 カレンダーから再生したい日付を選択します。緑色の日付が録画されている日となります。
- 3 チャンネル番号を選択します。タイプは「人体」を選択し [検索] をクリックします。
- 4 人体検知による録画ファイルのリストがサムネイル(縮小)表示されます。
下の数字ボタンでページを切り替えることができます。



- 5 再生したい録画を選択しクリックすると再生されます。



他のファイルを再生する場合、画面下側のサムネイルから選択して再生することができます。

サムネイル下の数字ボタンでページを切り替えることができます。

- ・再生画面左の [戻る] をクリックすると、4の画面に戻ります。
- ・再生が終わったら、マウスの右ボタンをクリックしてください。ライブ画面に戻ります。

<メモ>

AI再生映像のUSBバックアップはできません。

日時をメモしてバックアップ画面からバックアップしてください。☎18分

9 バックアップ

◆本機に録画されている映像をUSBメモリにバックアップできます。録画中でもバックアップすることができます。

<メモ>

- ・USBメモリはあらかじめ、パソコンでFAT32形式のフォーマットをおこなってください。
- ・バックアップしたファイル（AVI型式）はH.264およびH.265コーデックに対応した動画再生ソフトで再生が可能です。

1 USB端子にUSBメモリを接続します。下記の表示が出ます。



2 上記の画面で[バックアップ]をクリックするか、ライブ画面で右クリック→ [バックアップ] を選択し、バックアップ画面を表示します。



- 3 バックアップするチャンネルに[✓]します。
- 4 バックアップしたい録画モード『時間』『モーション』（センサーは使用しません）に[✓]します。
- 5 バックアップしたい範囲（日付と時刻）を選択・入力し [検索] をクリックします。

下側に録画ファイルのリストが表示されます。

- 6 バックアップしたいファイルの右側、選択に[✓]し、 [バックアップ] をクリックします。
- 7 バックアップが開始されます。
- 8 正常にバックアップが完了すると、「完了 バックアップは正常に記録されました！」と表示されます。
- 9 [OK] をクリックしUSBメモリを取り外します。

10 システム設定


- ◆本機のさまざまな設定をおこないます。
ライブ画面でマウスを右クリックし、『システム設定』を選択します。

10-1 一般設定

10-1-1 一般設定

- ◆表示や自動ログアウトに関する設定です。



言語	日本語ほか7言語に対応しています。
ディスプレイ解像度	ご使用のモニターにあわせて設定してください。 2K以上のモニターの場合は1080p@60Hzに設定します。
自動ログアウト	[✓]有効 にすると、本機をしばらく操作しないと、自動でログアウトします。 再度操作をする際は、ログインが必要になります。 (5-2ログイン )
キー音	本機では使用しません。
リモートID	本機では使用しません。
オートスイッチ	[✓]有効にすると、設定した秒数でライブ画面の映像を自動切り替えします。 ×1表示=1画面ずつ切り替え ×4表示=4分割表示を切り替え(カメラ5台以上接続時)
OSD透明度	設定メニューなど本機の表示(OSD)の透明度を調整します。
ボリューム	カメラ音声のマスター音量を調整します。
クラウドIDの表示	ライブ画面右下に表示されたクラウドIDを表示します。 遠隔監視させたくない人が画面を見る場合は[✓]を空白にし、クラウドIDを非表示にしてください。
時刻の表示	本機の内蔵時計をライブ画面左下に表示します。

10-1-2 時間設定

◆日時や日時の表示方法に関する設定です。



日付の形式	年、月、日 を表示する順序を変更できます。
同期時刻	インターネットに接続する場合、 <input checked="" type="checkbox"/> 有効 にするとインターネット上のタイムサーバーと同期し本機の日時を正確に保ちます。手動で日時を設定する場合は <input type="checkbox"/> を空白にします。
アドバンスト	タイムサーバーを変更することができます。
サマータイム	サマータイムを設定できます。
タイムゾーン	世界標準時間と日本時間の時差の設定です。「+09:00」を選択してください。
システム日付/システム時刻	同期設定の <input checked="" type="checkbox"/> を空白にすると表示されます。手動で本機の日時を変更できます。 ※定期的に時刻合わせをしてください。
時刻形式	12時間表示/24時間表示が選べます。

10-1-3 HDD設定


◆内蔵ハードディスクの容量の確認・設定ができます。



初期化	HDDをフォーマット(初期化)します。いままでの録画データは消去されます。初期化の欄に <input checked="" type="checkbox"/> を入れ、[フォーマット]をクリックします。
上書き	<input checked="" type="checkbox"/> を入れると上書き録画が有効になります。 HDDの空き容量がなくなると自動的に古いデータを消去し上書き保存します。

10-1-4 セットアップエラー

◆本機のエラー通知に関する設定です。

警報アイコン 	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 にすると、本機にエラーが発生した際、およびモーション検知（カメラ映像の動きを検知）した際に画面左下にこのマークを表示します。
エラー種類	通知するエラーの種類ごとに有効、通知方法が選べます。

10-2 録画設定

録画予約の設定をおこないます。


◆チャンネル・曜日・時間ごとに録画モードが設定できます。




初期状態では、上記のように日曜日から土曜日まで24時間録画するよう設定されています。

1 「チャンネル」で設定するチャンネルを選択します。


2 設定する録画モードを選択します。○をクリックしてください。

赤 = 『時間』 設定した時間帯は常に録画します。録画中はチャンネル右上に  を表示します。

緑 = 『モーション』 設定した時間帯で映像に動きがあった際に録画します。

モーションを検知するとチャンネル右上に  を表示します。

モーションを有効にするには、チャンネル設定のビデオ検出でカメラごとに設定が必要です。

 25

アラーム = 本機では使用しません。

※ 『時間』 と 『モーション』 は併用できます。

3 録画予約をする曜日・時間をマウスでクリックします。ドラッグして複数の曜日・時間帯をいちどに指定することも可能です。

[コピー先] ほかのチャンネルも同じ設定にする場合、クリックして設定内容をコピーするチャンネルを指定します。

[すべて選択] 設定する録画モードを選択し、[すべて選択]をクリックするとすべての曜日・時間帯を指定することができます。

[リセット] クリックすると、そのチャンネルの指定内容をリセットします。

4 [適用] 設定した内容を確定し、続いて設定ができます。

5 [OK] 設定した内容を確定し、設定画面を閉じます。

10-3 ネットワーク設定

10-3-1 ネットワーク設定

◆本機をネットワークに接続するための設定をおこないます。



DHCP を入れると、IPアドレス、サブネット、ゲートウェイ、優先DNSアドレスを自動で設定します。

IPアドレスなどを指定する必要がある場合、DHCPのをクリックし空白にし、各項目の設定をおこなってください。設定をする際は、ネットワーク管理者に確認してください。

※[サービス]は使用しません。

10-3-2 DDNS

◆DDNSサービスを利用する場合、有効にし、各項目の設定をおこなってください。

10-3-3 E-Mail

◆アラームなどをEメールで通知する場合に設定してください。



有効にし、使用するEメールサービスにあわせて設定してください。設定内容はプロバイダなどにお問い合わせください。

『ヘルスメッセージを有効』にすると、ヘルスメッセージ間隔ごとにEメールが送信され、本機が稼動しているかの確認ができます。

10-3-4 Wireless設定

◆本機の無線LAN(Wi-Fi)の確認をします。通常は変更しないでください。

近くに別のWi-Fi機器があり、カメラの映像表示が不安定になる場合は、「Wirelessチャンネル」を変更することにより改善する場合があります。

Wi-Fiアナライザーアプリなどで周囲のチャンネル使用状況を確認し、未使用のチャンネルに変更します。



▲(参考)Wi-Fiアナライザーアプリの表示例

10-3-5 PPPoE

◆本機では使用しません。設定を変更しないでください。

10-3-6 無線ネットワーク

◆本機を、無線LANでWi-Fiルーター (Wi-Fiアクセスポイント) に接続することができます。



- 1 無線LAN の有効を[✓]します。
- 2 「ネットワークを選択してください」に、本機が検出したWi-Fiアクセスポイントが表示されます。
- 3 接続するアクセスポイントを選択し、アクセスポイントのパスワードを入力してください。
- 4 [適用]をクリックし、「WiFi接続が成功しました」と表示されます。
- 5 [詳細を見る]でIPアドレスの確認ができます。
- 6 [OK]をクリックします。

【注意】

有線LANでネットワークに接続している場合は無線LANでの接続はしないでください。

「1 無線LAN」の「有効」は空欄にしておいてください。

10-4 チャンネル設定 接続したカメラの設定をおこないます

10-4-1 エンコード設定

◆ここでは、カメラの映像をデータ化するエンコードの情報が確認できます。



- ・解像度、ビットレートなどの数値は、カメラがサポートする値に自動で設定されます。
- ・カメラからの音声を記録するかどうかの設定ができます。

- 1 チャンネル 設定するカメラチャンネルを選択します。
- 2 エンコードモード AVストリーム・・・映像と音声
ビデオのみ・・・映像のみ
- 3 [OK]をクリック

10-4-2 PTZ設定



◆本機では使用しません。

10-4-3 チャンネルOSD

◆カメラの表示に関する設定をおこないます。



- | | |
|---------|-----------------|
| チャンネル | 設定するチャンネルを選択します |
| カメラタイトル | カメラ名称を変更できます。 |
| 色彩調整 | カメラの画質を調整します。 |

- | | |
|------|---|
| 接続品質 | ライブ画面に、無線接続の場合は  、有線接続の場合は  を表示します。
全てのチャンネルに対し有効です。「無効」にすると、表示しません。 |
|------|---|

10-4-4 ビデオ検出

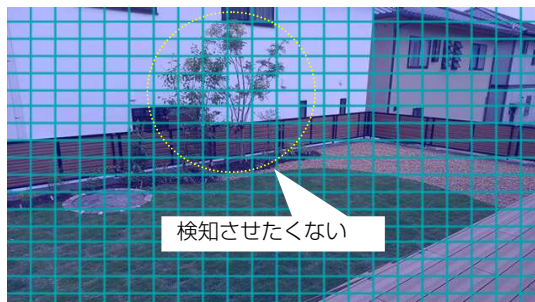
◆映像に動きがあったときに録画をするモーションの設定や、AIによる人体検出の設定をおこないます。



- 1 チャンネル 設定したいチャンネルを選択し、[✓]有効にします。
- 2 検出 ここでは『モーション』に設定します。
- 3 感度 モーションの検知感度を設定します。最高～最低まで5段階に設定が可能です。高めにすると小さな動きでも検知し、低めにすると大きな動きしか検知しません。
- 4 アラーム期間 検知したとき、本機のブザー音を鳴らすことができますが、鳴らす期間を選択します。
- 5 人体 AIによる人体検出をおこなう場合は[✓]します。確認メッセージが表示されるので[OK]をクリックします。
※モーション検知はしなくなります。
- 6 ボディリージョン 人体を検出した際、人体に赤い枠を表示します。
- 7 ブザー 検知した際、本機から“ピピッ”というブザー音を鳴らします。ブザー音の長さは「4 アラーム期間」で設定します。
- 8 E-Mail通知 検知した際、メールで通知できます。E-mailの設定が必要です。☎229
- 9 APPアラーム スマホアプリで本機と接続している場合、アプリのプッシュ通信で通知します。
- 10 全画面表示 検知すると全画面表示になり、しばらくすると元の画面に戻ります。
- 11 IPCアラーム カメラからサイレン音を鳴らします。
- 12 コピー先 設定内容を他のチャンネルにコピーできます。
- 13 アーミング時間 通知をしない曜日、時間を設定できます。通知をしなくても録画は実施されます。反映されるのは、ブザー・E-Mail通知・APPアラームです。
- 14 エリア編集 検知/非検知のエリアを設定できます。

【例】画像中央の木が風で揺れた際にモーション検知してしまうので、検知しないよう設定する。

①エリア編集画面を開くと、全体が青く格子状になっています。青い部分が検知エリアです。マスごとに検知/非検知を設定できます。②検知させたくないエリアをひとつずつクリックします。クリックしたところは黒くなります。黒いマスは非検知エリアです。③設定が終わったら右クリックから『戻る』を選択します。④[適用]をクリックしエリア編集を確定させます。



<メモ> マウスを右クリックするとメニューが表示されます。

- ①全て選択・・・全部を青（検知エリア）にします。
- ②全て消去・・・全部を黒（非検知エリア）にします。
- ③戻る・・・前の画面に戻ります。

10-4-5 IPCアップグレード

◆本機に接続したカメラのファームウェアをアップグレードするとき使用するメニューです。



※アップデート情報は、コロナ電業のホームページにてご案内いたします。

ホームページアドレス
<http://www.corona-dengyo.co.jp/>

10-4-6 ビットレート

◆本機に接続したカメラのビットレート(データ量)を表示するメニューです。



Kb/S 1秒あたりのデータ量
(キロバイト/秒)

MB/H 1時間あたりのデータ量
(メガバイト/時間)

録画可能時間のおおよその目安になります。

10-5 システム管理者

10-5-1 パーション情報

◆本機のファームウェアバージョンなどが確認できます。



[QRコード表示]をクリックすると、スマートフォン用アプリのダウンロードリンク、アプリに本機を登録するためのIDのQRコードが表示されます。

10-5-2 システムログ

◆本機のログ情報(履歴)が確認できます。



1 確認したいログの種類を『イベントタイプ』で指定し、ログを確認したい日時を指定します。

2 [検索]をクリックするとログ情報が表示されます。

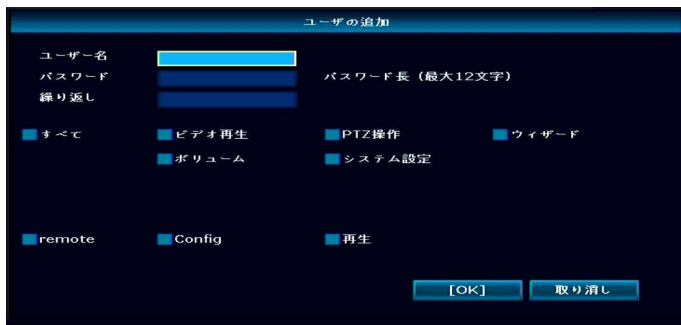
10-5-3 ユーザー管理

◆本機にログインするユーザーの設定などができます。



ユーザーを追加する

◆管理者のほかに”ユーザー”が登録できます。
ユーザーごとに本機の操作に関する権限を変えることができます。



1 [ユーザー追加]をクリックします。

2 ユーザー名、パスワード、繰り返し（再度パスワード）を入力し、操作を許可する項目に[✓]します。

3 [OK]をクリックします。

admin(管理者)パスワードを変更する

◆admin(管理者)のパスワードを変更します。本機を、パスワードを知っている人の他に操作をさせないために、設定してください。



1 『ユーザー名』 adminから変更はできません。

2 『旧パスワード』 現在のパスワードを入力してください。工場出荷時はパスワードが入力されていないので、空白のままです。

3 『新パスワード』 新しいパスワードを入力してください。

4 『繰り返し』 確認のため、再度、新しいパスワードを入力してください。

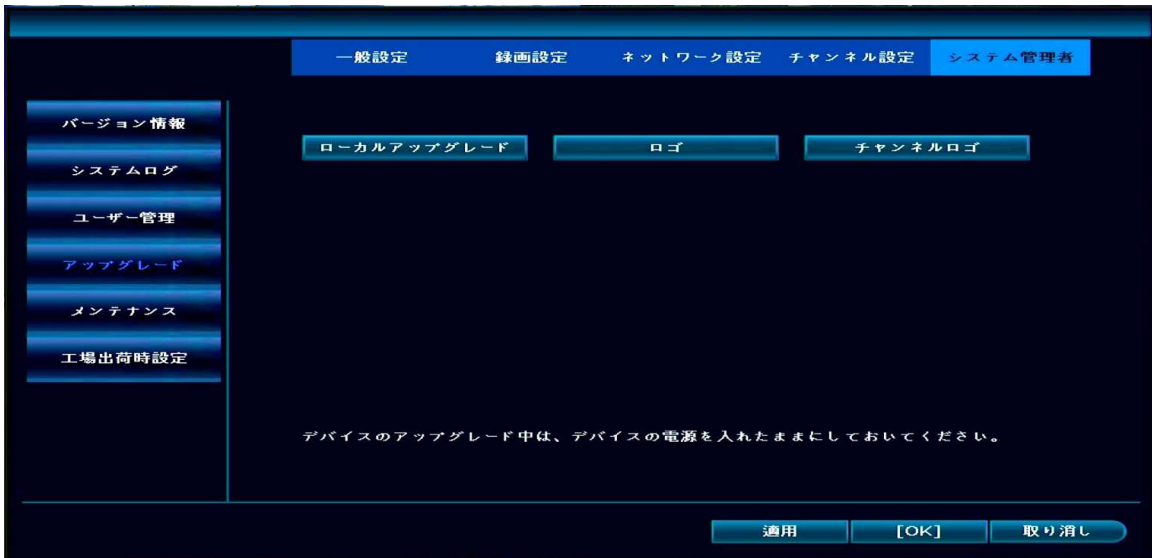
5 [OK]をクリックします。

ご注意

設定したパスワードは、メモに残すなどして、決して忘れないでください。

10-5-4 アップグレード

◆本機のファームウェアをアップデートします。



- 1 あらかじめ、パソコンでアップデートファイルをコロナ電業のホームページからダウンロードし、USBメモリのルートディレクトリ(最上位のフォルダ)にコピーしておいてください。
- 2 本機にUSBメモリを挿入し[ローカルアップグレード]をクリックすると自動的にアップグレードされます。完了するまで、絶対に電源を切らない(抜かない)でください。

[ログ]、[チャンネルログ]はメンテナンス用ですので使用しません。

10-5-5 メンテナンス

◆システムの安定化のため、本機を定期的に再起動することをおすすめしています。



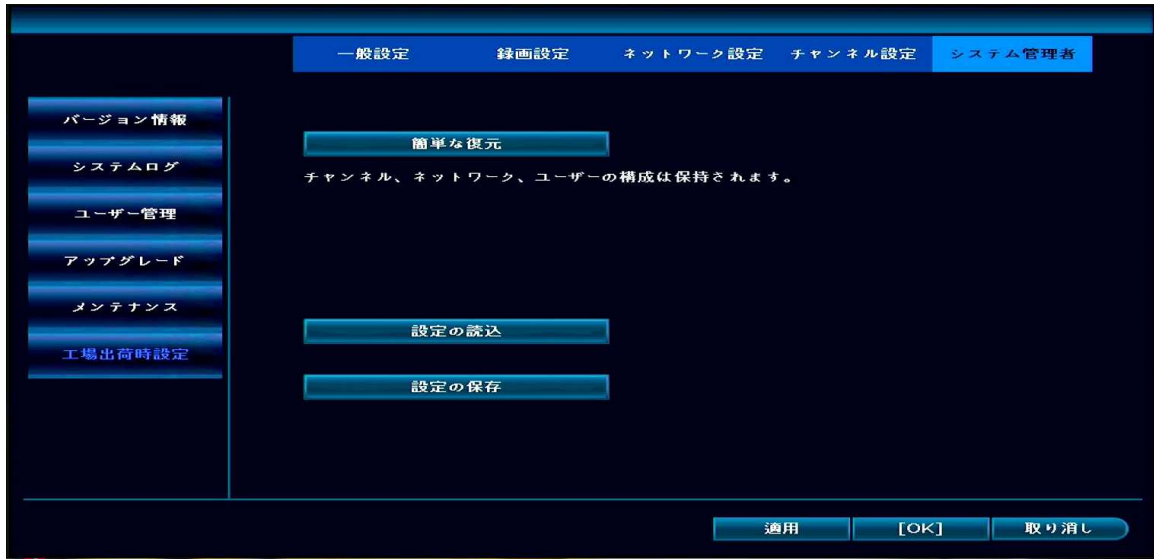
初期設定では『毎週』に設定されています。通電中は、週に一度、自動で再起動します。

自動再起動は『無効』(自動で再起動しない)から『毎月』(1ヶ月ごと)まで選べます。[再起動]をクリックして手動で再起動することもできます。

ご注意：再起動中は録画が停止します。

10-5-6 工場出荷時設定

◆本機を設定の一部を工場出荷状態に復元します。また、本機の設定をUSBメモリに保存したり、保存された設定を本機に読み込むことができます。

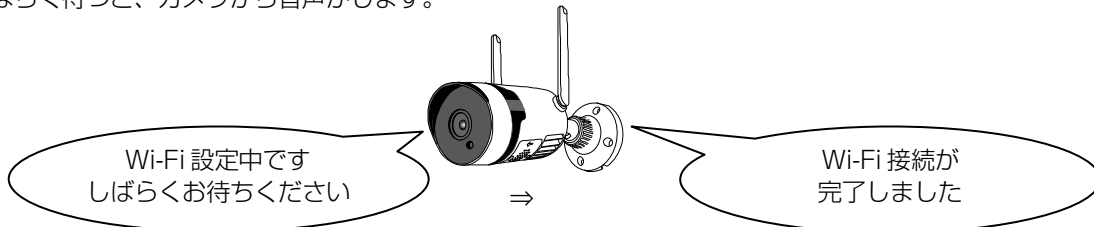


11 カメラ追加

◆Wi-Fiネットワークカメラをかたんに追加できます。

- 1 カメラに電源を接続します。しばらくするとカメラのインジケータが点滅します。
- 2 ライブ画面でマウスを右クリックし、『カメラ追加』を選択します。

しばらく待つと、カメラから音声が出ます。



- 3 『チャンネル<数字>が正常に追加されました』と表示されたら、[終了]をクリックします。
- 4 『コードをマッチングしました。続行してよろしいですか?』と表示されたら[はい]をクリックしてください。

12 クラウドサービス

◆本機をLANケーブルまたは無線LANでインターネットに接続すれば、外部のクラウドサービスを利用し、外出先のスマートフォンなどから本機を監視することができます。

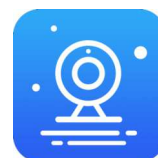
本機は、EseeCloudアプリ、IP Proアプリに対応しています。

～スマートフォンの操作～

1 アプリのダウンロード

Playストア または AppStore より、『EseeCloud』を検索するか、本機セットアップウィザードのクラウドサービスのQRコードをスキャンして、EseeCloudアプリをダウンロードしてください。


下記QRコードからもダウンロードできます。



Android用



iPhone用

- 2 アプリを起動したら、新たにアカウントを作成するか、「他のログイン方法」でログインします。
- 3 「スマートデバイスを追加」をタップし、本機IDのQRコードをスキャンします。
本機IDのQRコードは、ウィザードまたはネットワーク設定から表示できます。
「10-3-1 ネットワーク設定」22
- 4 「デバイスを構成する」画面で、本機の名前を任意で入力し、（完了）をタップします。
- 5あとはスマートフォン上の画面に従ってください。
- 5 本機のライブ映像はもちろん、本機のHDDに保存された録画ファイル再生も可能です。

※セキュリティの都合上、約10分操作がされないときは接続が切断されます。その場合は再度接続してください。

●本機で利用するクラウドサービス(EseeCloud/IP Pro) はパブリッククラウドであり、お客様で自身で契約する必要があります。また、サーバー障害等によりデータ等の滅失その他の損害が生じた場合であっても、当社は、お客さま又は第三者に対しデータ等の復旧、損害の賠償その他一切の責任を負いません。

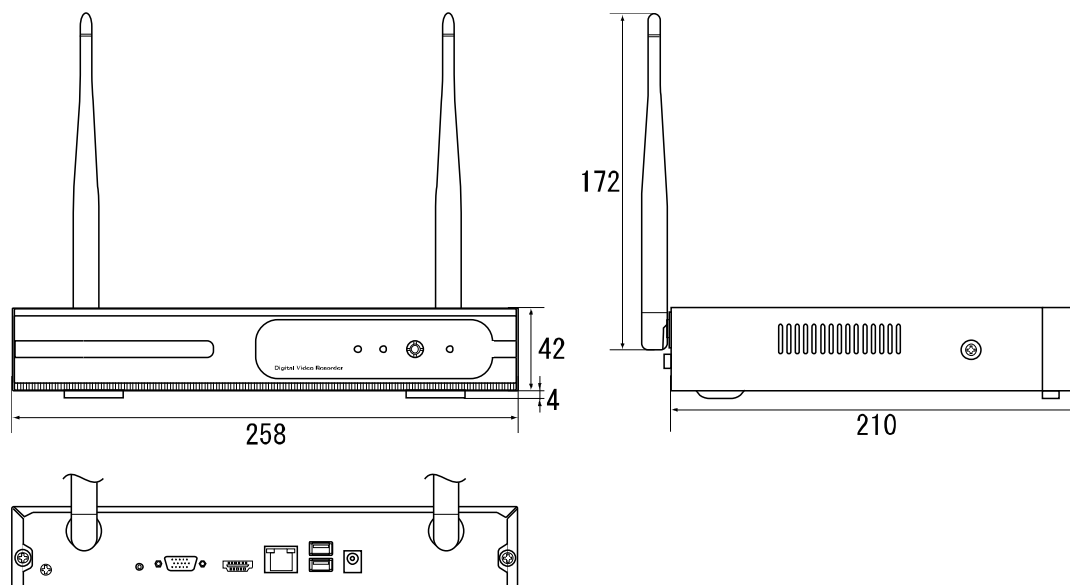
●クラウドサービス(EseeCloud/IP Pro) は予告なくサービス内容が更新される、または終了することがあります。

●本クラウドサービスは、Guangzhou Juan Intelligent Tech Co.,Ltdによって運営されています。

1 3 仕様



ビデオ入力		10CH：3MP、5MP
出力端子		HDMIx1(オーディオ出力サポート)、VGAx1 出力解像度：1024×768(出荷時)、1280×1024、1440×900、1920x1080 AUDIO OUT(3.5mm ミニジャック)x1
録画	圧縮方式	映像：H264/H265 音声：G711A
	解像度	5MP (2560x1920) 15FPS
	録画モード	時間録画、モーション録画
再生	再生速度	ノーマル、一時停止、早送り(×2、×4、×8)
	AI再生	人体検出による検索
	同時再生	2チャンネル(通常再生) / 1チャンネル(AI再生)
HDD		SATA 標準2TB(最大6TB)
バックアップ		USBメモリ(128GBまで)、アプリ
アプリ対応OS		iOS9.0以降、Android 5.1以降
USB端子		USB2.0×2
操作インターフェイス		USBマウス
通信 インターフェイス	有線	RJ-45(10/100/1000M)x1
	無線	2.4GHz(IEEE802.11b/g/n)
電源		12V/2A
消費電力		7.5W(HDD2TB搭載時)
使用可能周囲温度		0℃~55℃
使用可能周囲湿度		10%~90%(結露なきこと)
寸法 / 重量		42(H)×258(W)×210(D)mm(アンテナ・突出部含まず) / 約800g
同梱品		本体・ACアダプター・USBマウス・LANケーブル・取扱説明書(保証書付)

製品の外観・仕様などは、改良のため予告無く変更することがあります。



単位=mm

14 こまったときは

	症状	確認と処置
ライブ 映像	カメラの映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラのACアダプターの接続をご確認ください。 ・電波が途切れている可能性があります。「ビデオ管理」の設定をご確認ください。 P.13
	カメラの表示位置を変えたい チャンネルが入れ替わってしまった	<ul style="list-style-type: none"> ・「ビデオ管理」の設定をご確認ください。 P.14
	マウス操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ・マウスのUSB接続を抜き差ししてみてください。
	日時表示がズレている	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットに接続し時刻同期していない場合には、時間の経過とともに時計にズレが生じますので再度設定しなおしてください。「10-1-2 時間設定」 P.20
	画面の左下に  マーク	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの発生、エラーがあることを表示しています。  マークをクリックして状態を確認してください。 「10-1-4 セットアップエラー」 P.20
	急にネットワークが繋がらなくなった	<ul style="list-style-type: none"> ・お使いのWi-Fi環境を確認してください。 ・本機を再起動してください。 P.12
	接続品質が良くない	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラの設置位置を確認してください。近くに電波を出す機器があれば本機から離してお使いください。 ・リピータ機能をお試しください。 P.15
録画	映像が録画できない 映像が再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ・「10-2 録画設定」をご確認ください。 P.21 ・正常にHDDが認識しているかご確認ください。 「10-1-3 HDD設定」 P.22
	動きがないのにモーション録画している	<ul style="list-style-type: none"> ・光、ほこり、蜘蛛の巣などに反応している場合があります。検知エリア、感度の調整をおこなってください。 「10-4-4 ビデオ検出」 P.25
	モーション検知しない	<ul style="list-style-type: none"> ・「10-2 録画設定」でモーション録画する時間帯を設定してください。 P.21 ・「10-4-4 ビデオ検出」でチャンネルごとに <input checked="" type="checkbox"/> 有効になっているか、ご確認のうえ、検知エリア・感度設定の調整をおこなってください。 P.25
再生	A 再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ・「10-4-4 ビデオ検出」でチャンネルごとに <input checked="" type="checkbox"/> 有効にし、 <input checked="" type="checkbox"/> 人体となっているかご確認ください。 P.25
	USBメモリにバックアップできない	<ul style="list-style-type: none"> ・USBメモリをもう1つの端子にさしなおしてください。 ・正しくフォーマットされているか確認してください。 ・新しいUSBメモリをご使用ください。
その他	パスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> ・本機をお預かりさせていただき、有料にてパスワードの解除をいたします。 ⇒ 当社サポート窓口までメールにてご連絡ください。

本製品に関するお問い合わせは、メールにてお願いいたします。

サポート窓口 メールアドレス info@corona-dengyo.co.jp

15 修理について

製品の品質には万全を期しておりますが、万が一品質上の不具合が発生した場合には、お買い上げの販売店または当社メンテナンス部にて修理を承ります。修理にお出しいただく際には、下記の案内を必ずお読みください。

保証期間内修理(無償修理)

お買い求めいただいた日から起算して、製品により定められた期間に不具合・故障が発生した場合は、無償修理期間となります。

ただし、落下・破損・腐食・火災、地震、風水害、落雷等の天災の場合は、無償修理期間内でも保証の対象にはなりません。詳細は保証書をご確認ください。

保証期間外修理(有償修理)

保証期間を経過した場合、及び無償修理対象外事項(保証規定に準ずる)に該当する場合の不具合、故障につきましては、「保証期間外修理(有償修理)」での対応となります。

修理担当者が故障した製品を確認させていただき、お見積を提示いたします。

※出張修理はおこなっておりませんので、あらかじめご了承ください。

修理規約

・修理のご依頼時には製品をご購入店にお持ち込みになるか、弊社メンテナンス部にご送付ください。販売店にご持参いただく際の交通費等諸費用は、お客様にてご負担願います。また販売店と当社間の運賃諸経費につきましても、一部ご負担いただく場合がございます。

・弊社メンテナンス部については下記をご確認ください。送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。

・修理は、製品の分解または部品の交換若しくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を要する他の製品と交換することにより対応させていただくことがあります。

・修理依頼品がハードディスク、メモリ等の記録装置・記録媒体(以下「記録媒体等」といいます)を搭載または使用する製品である場合、作業の安全及び製品の安全を確保するため、記録媒体の初期化、工場出荷時の状態にする作業を行わせていただきます。その際、記録媒体等に記録されたデータ(お客様が録音・録画その他記録した映像・動画・画像、作成したファイル、各種の設定内容、更新/追加インストールしたソフトウェア等を含み、以下「記録データ」といいます)は失われます。なお、本サービスの提供の過程で当社は記録データの複製・バックアップその他記録・保存や復元作業等は作業の安全を確保するため一切行ないませんので、あらかじめご了承ください。

・有償・無償修理にかかわらず、交換された旧部品または旧製品等は、返却いたしません。無償修理・有償修理ともに、修理又は交換した部品の保証期間は、修理完了日より90日間又は当該部品が組み込まれた製品の残余保証期間のうち、いずれか長い方とします。その期間内に修理又は交換した部品に不具合があった場合、弊社は再修理又は交換の責任を負うものとします。

・製品の設置場所の変更、転居、譲り受け、贈答等の場合で表記の販売店に修理を依頼できない場合には、弊社にお問い合わせください。

免責について

・お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。

・お客様がご購入された製品について、隠れた瑕疵(かし)があった場合は、この規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵(かし)を補修または瑕疵(かし)のない製品または同等品に交換しますが、当該瑕疵(かし)に基づく損害賠償の責任は負わないものとします。

・弊社における保証は、お客様が購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスク・メモリーカード等のデータ記憶装置について、記憶されたデータが正常に保存、読み出しができないことや消失・破損もしくは使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害(撮影に要した諸費用および撮影による得べかりし利益の喪失や損害等)について保証するものではありません。

有効範囲について

この約款は、日本国内においてのみ有効です。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

This warranty is valid only in Japan.

修理品の送付先について

修理ご依頼の際は、保証書とあわせて修理依頼票をお送りください。

修理依頼票のダウンロードはこちらから↓

<http://www.corona-dengyo.co.jp/support/>

● 修理品送付先

〒123-0864

東京都足立区鹿浜3-28-18

電話 03-3903-9712

コロナ電業株式会社 メンテナンス部 宛

※上記電話番号は修理受付拠点の電話番号のため、製品に関するお問い合わせはお受けできません。